

# 父母と教師の会会報



# 葵

## 第76号

発行：平成29年11月1日  
 福島県立葵高等学校  
 父母と教師の会  
 会津若松市西栄町4-61  
 TEL (0242) 27-5461  
 発行者 丸田 一也  
 編集者 磯貝 太



## パパ弁

### 一年女子の父

可愛い弁当は作れないので、肉系の茶色だけにならないように気を付けて作っています。中学生の弟がいるのですが、土日の部活などで朝になっていきなり今日は弁当だなんて言い出す時は、罰としてウインナーだけの弁当を作ったりします。

## イタ弁

### 一年男子の母

高校に入ってどんどん会話がなくなりましたが、唯一弁当の事が話題になりました。美味しかったおかず、入れてほしくないおかずなど。その中でも一番嬉しかったのは、一年生の時に友達にも美味しいと言われたことを教えてくれた時です。早起きして弁当を作るのは辛い時もありますが、たまにはイタズラをして、弁当を開けたときのにやけた顔を想像しながら、会話の話題にもなる弁当に感謝して、毎日頑張って作っています。

ホームページはこちら

<http://www.aoi-h.fks.ed.jp>



福島県立葵高等学校

検索



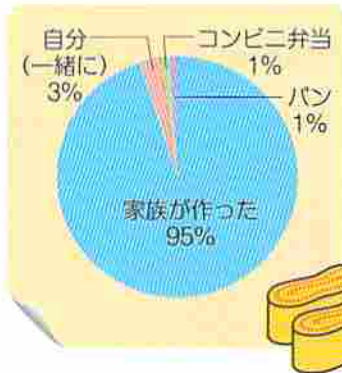
# 葵高生の昼食&朝食事情

## アンケート結果

 実施日：7月20日  
対象：各学年2クラス(合計232名)

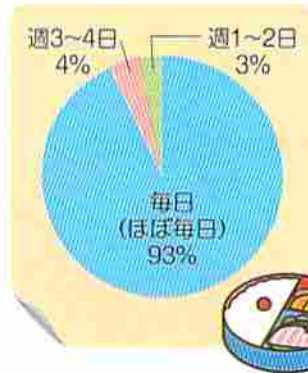
腹が減っては戦はできぬ。たかが弁当されど弁当だ。  
他の人の弁当も気になる。誰にでも弁当の思い出はたくさんある。  
葵高生はどんな弁当だろう？ 雨の日も風の日も弁当を作る人の思いは？

圧倒的に家族ですが、中には姉が作るというのもありました。自分(一緒に)というのが意外と少ないのは少し残念な気がします。ほとんどの人が手作りの昼食を持つてくるのはさすがですね。



**Q** 昼食は誰が作りまし  
たか？

たまには持って来られないこともあるようですが、しょうがないですね。ほとんどの人が毎日持つてくるといのは立派です。



**Q** 昼食は持つていきま  
すか？

たくさん嫌いなもの入れてほしくないものがありました。千差万別でした。野菜類は全体の約半数を占めました。色どりだけでなく栄養も考えて作っているはず。嫌いでも残さずに食べさせていると思います。

- ( )の数字は人数  
総記載者数44名
- ① トマト (20)
  - ② 野菜 (14)
  - ③ ピーマン (11)
  - ④ 梅干し (8)
  - ⑤ ゆで卵、卵焼き (8)
  - ⑥ 肉類 (7)

**Q** 嫌いなおかずや入れ  
てほしくないおかず  
は？ (記述)

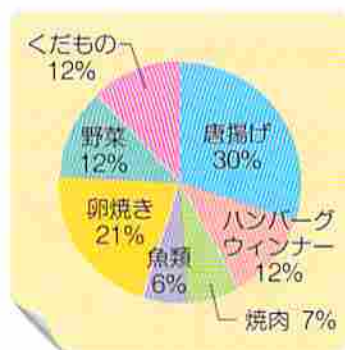
- 冬は保温弁当で暖かい。
- 味噌汁、スープ、ポタージュスープ付き。
- ゼリーが保冷剤代わりに入っている。
- ソーメン、冷ジャージャー麺ミニヌードルの時がある。
- いつもメッセージが書いてある。

**Q** こだわりや何か工夫  
してあると思う点  
は？ (記述)



**Q** 朝食は？

好きな傾向は学年に違いはありませんでした。やっぱり肉類が多いですね。卵焼きは定番でしょうか。野菜、果物もやはり食べたいところでしょう。分類を大きくしたのですが、細かく尋ねれば「生姜焼き」「牛肉」や「レタス」「アスパラ」というような好きな食べ物は様々なのだと思います。



**Q** 大好きな  
おかずは？



- 毎朝早く起きてメッセージを書いてくれて弁当が楽しみだ。これからもよろしくお願います。
- 嫌なことがあってもお弁当の時はいつも楽しみみです。
- 小中高と毎日早く起きておいしいお弁当をありがと。
- 栄養を考えてくれてありがと。
- 下宿生全員に毎日弁当を作ってくれてありがと。

この3つがほとんどでしたが以下のようなものもありました。

- ありがと。
- 毎朝早くから起きて作ってくれてありがと。
- 忙しいのに作ってくれてありがと。

**Q** お弁当を作ってくれる  
人に一言(記述)

お弁当を見せて  
もらいました



### 弁当の思い出

三学年主任 佐藤 治之

私のお弁当というアルマイトの弁当箱に白いご飯が押しつぶされて入っている状態と少しのおかず(卵焼き・魚肉ソーセージ・煮物など)しか思い浮かびません。また、おにぎりは、アルミホイルやラップが出回る前は大変でした。

お弁当の思い出というと、私の場合、子どもに作った手作り弁当が印象に残っています。現在二十九歳の息子が保育園に通園していた時、週二回お弁当の日がありました。妻が東京出張の時、その日が訪れました。お弁当箱の大きさは15cm×10cmほど、その三分一はご飯、(二段にした海苔弁)おかずはタコウイシナー、星形ニンジン・グラッセ(甘露煮、キュウリ、ブチトマト、そして卵焼きというものでした。ちよつと早起きしてご飯を炊き、おかずを詰めてできあがったお弁当を通園バックに入れてから、子どもを起こして朝ご飯を食べさせて、園まで送り届け学校に出勤しました。

夕方、保育園に迎えに行つて帰宅途中の自動車の中で、「今日のお弁当ね!美味しかったよ!」お父さんが作ったお弁当を見せて!」って友達が見に来たという話を笑顔でしてくれました。私はホッとすると同時にチヨットだけ嬉しくなりました。それ以降、息子に弁当を作ったことはありませんが、私のお弁当に関する思い出ということになります。

# 弁当を作る親の思いは？ 高校生の時の弁当の思い出は？

できるだけ手作りのお弁当を持たせたいと、毎日のお弁当作りに励んでいます。娘は、批評することなく毎日お弁当をきれいに食べてきてくれるので感謝しています。お弁当も母の味が後々感じられるものだと思います。前夜からメニューを考える日々ですが、母の思い、味を伝えていけるよう明日もがんばります。

高校入学と同時に始まったお弁当作りも、三年目を迎えました。同じおかずにならないように、栄養バランスがとれるように、悩みは多いのですがお弁当も子供達とのコミュニケーションの一つと思いつながりながら作っています。

朝ごはんもしっかり作らなければならない娘。昨夜の残り物のおかずをしっかりと弁当に入れて愛情つめて送り出します。キャラ弁は時間がなくて作れないけれど、いい味出しています。

当時冷凍食品もなく手作りの卵焼き、焼魚、炒め野菜が定番。栄養がよかったです。休日でも部活があると欠かさずお弁当を作ってくれた母には今でも感謝です。

第6回お弁当甲子園応募作品より

## 私から母へ

### 「思い出弁当」

二年 須藤 瞳

いつも弁当を作って、私を笑顔で送り出してくれる母に感謝の気持ちをこめて作りました。小さい頃に母から教えてもらった料理をおかずとして取り入れたことがこだわりです。午後の仕事も体力を回復して働けるようにスタミナや食べやすさを考えて作りました。コンクール応募の機会に、弁当を作る楽しさや食べてもらう人の気持ちを考えて作ることも、普段なかなか気づけないことに気づくことができました。

#### (献立)

- 牛肉のおろしポン酢あえ
- ジャガイモ&ベーコングラタン
- トマトのベーコン巻き
- 卵焼き
- ブロッコリー
- 山菜炊き込みご飯



## 24時間テレビに出演して

合唱部顧問 長谷川 桜

去る八月二十七日(日)、24時間テレビ「告白」勇気を出して伝えよう」に本校合唱部が出演しました。この企画は、福島県の今をVTRで伝えると共に、福島の子供達で編成した特別合唱団が、番組のメイン会場である日本武道館で嵐の櫻井翔さんとともに合唱するというものでした。

コンディションを整えます。夕方四時頃、武道館に会場入りすると、廊下で様々な芸能人の方とすれ違いました。生徒たちはミスターな気持ちを抑え、特に騒ぐこともせず、大人な対応で行動していました。最後のリハーサルを終え、いよいよ本番。本番前、テレビではCMの間に、櫻井さんが緊張している生徒たちを気遣い優しい言葉をかけて下さいました。

八月の中旬、浪江中学校、大熊中学校卒業生らと特別合唱団を編成するという事で、郡山へと向かいました。そこに、嵐の櫻井さんが来て下さり、生徒たちは大騒ぎに！武道館での本番への意気込みを確認した後、他の学校の生徒たちともすぐに打ち解け、嵐の「ふるさと」の練習を行いました。それぞれの想いを胸に大型バスで向かった前日リハーサル日。スタジオでの練習後、本番会場である武道館へ向かい、今度はステージリハーサル。生放送という事で、すべてのことに早めの準備はもちろんのこと、秒単位でのスケジュールが組まれていることには大変驚きました。本番の立ち位置など綿密にチェックを行い、多くのスタッフの見守る中リハーサルは無事終了しました。

本番では、今まで浴びたことのないぐらいの眩しい照明の中、溢れんばかりの笑顔で心を一つにして「ふるさと」への想いを歌いあげることができました。今回の経験で茨高校合唱部としての誇りをより強く持つことができたいと思います。このような機会に恵まれたことに感謝して、これから充実した活動をしていきたいと思います。

いよいよ本番当日、生徒たちは疲れも見せず朝から元気に練習を開始。夕方の本番に向けて



# 合唱コンクール

7月12日(水)に風雅堂で行われた今回の合唱コンクールは、例年になく2階の保護者席が大勢の家族の方でいっぱいになりました。

2階から見てみると子供達一人一人の顔はよく見えませんが、とてもいい顔をして歌っているように思えました。どのクラスの歌声もとてもきれいでこんなに歌えたら楽しいだろうと思えるような歌声でした。こんな美しい合唱は久しぶりに聞いた感じがします。レベルが高く聞いていた保護者は皆さん驚いたことでしょう。あらためて合唱はいいなと思わせてくれる、心洗われる時間でした。ソロあり、独自のアレンジあり、ラップ調ありで各クラスの特徴もよくでていました。全校生が達成感を感じた時間を過ごしたと思います。毎年2階席は開放しているとのこと。今年行かれなかった1、2年生の家族の方は来年こそは鑑賞してみたいはいかがでしょうか。

## 最優秀賞 3年5組「明日への手紙」

### 各学年入賞クラス

1年	2年	3年
第1位 1年3組	第1位 2年6組	第1位 3年5組
第2位 1年1組	第2位 2年2組	第2位 3年6組
第3位 1年4組	第3位 2年4組	第3位 3年4組

### 指揮者賞

宮内 陽来 (3年4組)

### 伴奏者賞

田辺 瑠那 (3年1組)



# 球技大会

**総合 第1位 3年6組**

**第2位 3年3組 / 第3位 3年5組**

- 男子バスケットボール 第1位 3年5組
- 男子バレーボール 第1位 3年3組
- 男子サッカー 第1位 3年6組
- 女子バスケットボール 第1位 3年6組
- 女子バレーボール 第1位 3年2組
- 女子ソフトボール 第1位 2年5組

7月18日(火)、19日(水)の2日間にかけて球技大会が行われました。今年はいにくの雨で初日のサッカーとソフトボールが2日目に延期になってしまいましたが、体育館にも校庭にも生徒達の声が響き渡り各クラスの団結の強さが見えました。なかでも、3年生が各部門で圧倒的なチーム力をみせたことが印象に残っています。クラスTシャツを着て、円陣を組み、声をあげ応援し、仲間を信じてプレーしたこの球技大会はとても盛り上がった2日間だったと思います。



# 松操祭が行われました

9月6日(水)に3年に一度の生徒会行事である「松操祭」が行われました。文化部のステージ発表を中心に音楽から演劇、ダンスまで幅広い内容で六団体が発表しました。また、今回はビブリオバトルの披露や美術部と美術選択者の作品展示など、普段なかなか見たり、聴いたりできないお互いの発表を鑑賞することができる充実した内容となり、大変盛り上がりました。



## あいさつ運動 「あいさつ三原則」

生徒指導主任

渡部 彰

本校では年五回の登校指導の中で、安全指導、服装・頭髪指導に加え、PTA健全育成委員会と連携した「あいさつ運動」を実施しています。朝早く、忙しい時間帯の活動であるにもかかわらず、今年度も多くの委員の方のご協力により、保護者・学校が一体となった指導を進められていることに感謝しています。

あいさつは時間にすれば三秒程度ですが、コミュニケーションの第一歩と言われるように、相手のために自分の時間を使う気遣いの行為です。「止まる」「つまずく」「相手に向ける」「相手を見てあいさつする」という三原則を踏まえたあいさつは、「自分のために時間を使ってくれたんだな」と感じさせることができ、人間関係を円滑にしていけます。保護者・教員がこうした活動を通して生徒の手本となることを心がけ、健全育成に努めていきたいと考えています。

## 葵高校P会報キャラクター



初めまして  
名前を募集中です



# 全国P大会で表彰される

会長 丸田 一也

晴天の下、八月二十四日(木)、第六七回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会にて会長表彰(団体)授賞式に参加しました。

日頃から会員皆様からの心強いご協力ご支援を賜り、ただけただけのものです。あらためて感謝申し上げます。

約一万人が集まった非常に大規模な大会で、会場の静岡県小笠山総合運動公園エコパアリーナの広大な会場と人の多さに圧倒されました。二〇一九年開催予定のラグビーワールドカップの一つの会場として指定されている場所でもあります。

今年東北は例年になく雨が降り続き、農作物への影響が心配された状況でしたが、静岡県はしばらく雨が降っていない上に真夏日が何日も続いていたとの事で、地域による気候の差を感じました。

アトラクションとして、静岡県立横須賀高等学校生徒達による「三社祭礼囃子」が披露され、おかめ、ひよつとご、般若のそれぞれがひょうきんでコミカルに絡み合う踊りを楽しく拝見させていただきました。練習も相当こなしていたと思われ、

素晴らしい舞台でした。本大会テーマは「有徳の人」づくり、未来のために行動する「一人」を育てようです。有徳の人とは、個人として自立した人、人との関わりを大切に人、より良い社会づくりに参画し行動する人を差す言葉で、自分を含め、当たり前に出て来ようで出来ていない人間が多いこの世の中に警鐘を鳴らす感慨深いテーマではないかと思えました。激動のこの時代、国を越えて相手を思いやらない事も数多く起きています。

有徳の人となれるような言動、行動を心がけ、コミュニケーションを大事にして、まずは自分の身の回りから幸せに楽しく過ごせる環境を作っていくことではありませんか。早いもので、今年度も残すところあと半分です。会津の寒さがやってきましたのでご自愛ください。

素晴らしい舞台でした。本大会テーマは「有徳の人」づくり、未来のために行動する「一人」を育てようです。有徳の人とは、個人として自立した人、人との関わりを大切に人、より良い社会づくりに参画し行動する人を差す言葉で、自分を含め、当たり前に出て来ようで出来ていない人間が多いこの世の中に警鐘を鳴らす感慨深いテーマではないかと思えました。激動のこの時代、国を越えて相手を思いやらない事も数多く起きています。



# 学年保護者懇談会について

各学年で保護者懇談会が開催され、多くの方に参加いただきました。今回は、一学年と三学年に報告していただきました。

目標もなく何となく大学に入った学生は留年・退学する傾向があるとのこと。

志望大学合格の秘訣として①早期の志望校決定②家庭学習習慣の定着③自分の学力を把握し対策をする④最後まであきらめないモチベーションを持つなどが挙げられました。

入試制度がめまぐるしく変わるため親も学ぶことが大切。子供に対して支配的になりすぎず、子供の相談相手になるという言葉が印象に残りました。

高校生活がスタートして三ヶ月が経過しました。時には一縷に悩みながら共に成長していく三年間でありたいと思えました。(進路対策委員 柴田 美智)



(3学年)



(2学年)



(1学年)

今年度の一学年保護者進路講演会は五月二十七日(土)会津大学において「入試制度と保護者の心構え」というテーマで河合塾の細川幸俊氏に講演いただきました。

高校一年生は将来について考え文理選択をする時期であり、自分は大学で何を学びどんな知識を身につけ、将来どんな職業に就きたいか目標を持つことが大切である。二人に一人は大学進学を希望しているが、明確な

六月十日(土)、労働福祉会館にて三学年保護者懇談会が行われました。「推薦入試とAO入試」をテーマに斎藤功先生が講演を行い、保護者約一三〇名が熱心に耳を傾けていました。

推薦やAO入試の種類、それぞれの利点と問題点、合格した卒業生の高校在学中の生活の様子と経緯について具体的に教えるの志望を明確にできるか、ありとあらゆる可能性に向け、積極的に行動する事ができるかが重要だと感じました。推薦で合格できたらどんなに楽か...と安易に考えてしまう事もあります。思うような結果が得られず一般入試に切り替える際の心理的リスクが小さくないこともわかりました。

推薦やAO入試に挑む際の計画性と自己分析、プレッシャーに打ち勝つメンタル強化の大切さは、一般入試にも共通する重要なテーマだと思えます。親として、時には親身に、時には冷静に、根気強く我が子を支えることが大切だと改めて考えさせられました。(三学年副委員長 小林美和子)

# 編集後記

最後の最後、編集後記までお読み頂き誠に有り難う御座いました。お弁当特集へのご協力も重ねて御礼申し上げます。

とところで、十八歳以上に選挙権が拡大されてから初の衆議院選挙になり、新聞を隅々まで読んで学んだ生徒さん、生徒さんからの質問で政治に関心をもった保護者も多いと思います。

政治と言えば日本の内閣には大臣がいますがアメリカや中国にはいません。他に大臣がいる国を探してみるとイギリスが挙げられますが、大臣は日本とイギリスにあつてアメリカ、中国にはないものなのです。

気がついたと思いますが日本には天皇陛下、イギリスは女王陛下がいらっしゃる。つまり、王朝由来の国においては、国政を司る重要な官職を大臣と称し、それゆえ、共和国や共産主義国家には大臣がいりません。これらの国で、大臣相当職はアメリカでは長官、中国では部長と訳されて報道されます。

このことが分かるとテレビや新聞でアメリカの長官や中国の部長さんの動向が大きく報道される理由がよくわかると思えます。次号は卒業関連特集の予定です。(広報委員長 磯貝 太)